

事業項目	令和5年度	実施基準回数	実施主体			備考		
			センター	ステーション	市			
P 現状分析・課題抽出・ 施策立案(計画)	(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	1	医療資源調査、医療資源マップ管理	○				
		2	地域医療提供体制に関する実態・意識調査	○				
		3	介護施設等における医療的ケア提供体制調査	○	○		新規①	
	C 対応策の評価の実施、 改善の実施	(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	4	ステーション業務の統括・調整、業務マニュアル更新管理	○			
			5	関係機関との連携調整・連携のしくみづくり	○			
		(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進	6	センター・ステーション会議	○			
			7	在宅医療・介護連携推進協議会			○	
D 対応策の実施	(ア) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	8	医療・介護関係者の相談支援		○			
		9	地域包括支援センターとの連携・支援	随時		○		
		10	地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供			○		
	(イ) 地域住民への普及啓発	11	働く人のための医療・介護セミナー	2回	○			
		12	在宅医療・介護連携センターホームページ運営		○			
		13	医療と介護の市民講座	年6~8回 (×11ST)		○		
		14	医療と介護の出前スクール			○		
		15	在宅医療・介護に関する動画・冊子を活用した普及啓発			○		新規②
	(ウ) 医療・介護関係者の情報の共有支援、知識の習得等のための研修などの実情に応じた医療・介護関係者の支援	16	在宅医療ネットワーク情報交換会	1回	○			
		17	地域医療連携強化事業	1回	○			「精神科と一般科との連携を考える！」
		18	入退院連携のあり方検討会	2回	○	○		新規③
		19	CanCanミーティング	1回	○			
		20	意思決定支援研修会	1回	○			
		21	ご当地連携研修会	年3~5回 (×11ST)		○		
		22	地域看護連携強化事業	年1回 (×11ST)		○		
23		新潟市医療と介護の連携ハンドブック普及・促進			○		ハンドブック冊子は廃止(WEB版活用)	
24		病院看護管理者研修	1回			○		
25		「にいがた救急連携シート」のモデル運用				○		

在宅医療・介護連携推進事業のうち、令和5年度新規事業について

1 介護施設等における医療的ケア提供体制調査 (C/ST) 【計画書No.3】

【目的】

介護施設等の医療機能を調査し、病院および医療介護関係者に情報提供することで、退院時や介護サービス利用時に照会先や連携先を適切に選択、連絡できるようにする

【実施内容】

- ・令和5年度内に調査実施 (C)
- ・調査結果を担当エリアの関係機関に送付 (ST)

2 在宅医療・介護に関する動画・冊子を活用した普及啓発 (ST) 【計画書No.15】

【目的】

勤労世代等多世代への在宅医療・介護の理解促進を図る

【実施内容】

- ・令和5年度内に動画作成、動画を活用した普及啓発 (C/ST)
- ・動画の配信・WEB 広告 (市)

3 入退院連携のあり方検討会 (C/ST) 【計画書No.18】

【目的】

病院および在宅関係者の連携の現状や課題を共有し、円滑な連携や入退院支援を推進する。

【実施内容】

- ・令和5年度は市全域で2回開催 (C/ST)
- ・実施により出された課題、意見を集約し、令和6年度の在宅医療・介護連携推進事業の取組みに活かす。また、連携ハンドブックの見直しを図る。